

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392700023
事業所名	グループホームぬくもり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 新型コロナウイルス感染症予防の為、外部との往來をすべて中止しています。事業所の中では職員が衛生管理に配慮しつつ七夕やクリスマスの行事に苦心し、また外では散歩を通して園児や子どもの遊ぶ様子を眺めることでしばし和む日々を送っています。以前には利用者家族が収穫した野菜を届けてくれるなどの心尽しも見られましたが、事業所だけでなく総じて「会わないほうが安全」が浸透していて、訪問者もありません。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 母体病院の栄養士が異動で欠けた他は従来通りのメンバー（津島市、地域包括支援センター、民生委員、福祐寺住職、母体病院の看護師）で運営推進会議が編成されています。皆で顔を合わせる参会はず、所内で2ヶ月分の活動内容をまとめて津島市に届けて意見をもらう形式を一昨年の6月から続けています。また昨年の6月からは津島市役所以外のメンバーにも届けるようになり、本制度をより適切に運用させています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 津島市のネット配信は必ずチェックし、行政と情報共有を図っており、制度変更のほか実践者研修や管理者研修の開催案内も即座に確認でき、助かっています。さらに管理者は常勤変更等の書面提出では市役所窓口に出向き、助言を直接仰ぐことで知識を積むことができています。また、地域包括支援センターには運営推進会議の議事録への返信の中で、コロナ禍の苦労を汲んでもらえ、励ましの言葉が力となっています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 玄関での面会のみで、状況が悪化すれば停止もありますが、家族から信頼と理解を得ており、現状苦言をはじめ要望はあがっていません。ただ1名の利用者については食事が摂れない状態が続いたため、家族には本人の好物を持参して共に食卓を囲むといった事を数回お願いしている例もあり、柔軟に対応しています。また会議はユニットのみなもの係りが潤沢に配置され、コロナ禍における利用者への観察や要望の収受がスムーズです。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	×	×	○	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○								

【備考欄】

--